んの記念碑と違てちら活字としてちらして置こ
ぼしがられる事と思はれる。

一地方一局部の事であるが、此の一定の確たる方針の無い矛盾の利権本位の政策はあまねく行はれてゐる[redacted]。明治の初期の混沌境は必ずしも一を選ぶべきでは[redacted]（無く、中）には随分[illegible]べき事もあるが[redacted]此の如き馬鹿げた矛盾は無い。畢竟するに原上や[redacted]（土地の誇りを）個人の判断が定まらんからで、東京中の新聞雑誌も頼らぬ先きん立論をするやうな事が無ければ幸ひである。

27

28 ま

▲太陽

「太陽」は終に休刊するさうだ。（三十何年間）無論復刊する時はあらうが一寸以[redacted]素範外の一人として浅からぬ関係と[redacted]（有する）私は多少の感慨[redacted]が無い事は無い。[redacted]寿命はドンナものにも[redacted]（有る。雑誌が）必ずしも永続的のものと限る必要はない。[redacted]（必しも）名物は永続しても内容が變改も更生した例は珍らしく無い。~~當事の定期刊行物の中~~[redacted]、獨り「太陽」に限つた~~事~~（丈け）では無い。且「太陽」は（縦令）一時の如く天上天下唯我独尊で我が雑誌界に君臨するので無いと假定しても、又